



志津南 news

志津南ホームページ
http://shizu373.net

志津南学区の人口 (6/30 現在)
世帯数 2,264 総人口 6,243 人
発行
志津南学区まちづくり協議会
Tel(fax) 077-563-6206
E-mail shizuminamimachi@gmail.com

かがやきの丘町内会は8月20日、かがやきの丘北公園で「第七回かがやき夏まつり」を開催しました。昨年同様、暑さを避けて17時からの開催となりました。写真。



「かがやき夏まつり」に400人 子どもコーナーには笑顔の列

役員、班長、なごみ会、子ども会役員総勢56人のスタッフで運営をしました。腰をおろしてゆっくりにしてもらえるようにシートを敷き、約112世帯400人が参加しました。からあげやジュースは完売。ふれあい夏まつりでの経験を活かしたかき氷は手際も良く、日中の暑さも手伝って、最多販売数でした。お菓子すくいには、去年と同様に列が来ました。

高齢化時代 万に備えて

去る7月31日、若草一丁目の認知症の68歳男性が行方不明になりました。ご家族の方から、草津警察署・草津市役所に連絡、夕方草津市役所健康福祉部地域保健課から、「対策本部の設置」要請があり、草津市役所と一丁目町内会で捜索が開始されました。



8月1日・2日は警察や草津市消防団第2分団をはじめ、関係機関が加わり、40～60人体制で捜索活動が行われました。3日の午後からは、まちづくり協議会(花澤仁左工門会長)の要請で各種団体からの応援もありました。午後2時頃、本人らしき人が救急車で病院に搬送されたとの一報があり、家族が本人であることを確認しました。

若草一丁目町内会には、ボランティアの「みまわり隊(大倉清廣隊長)」が組織されており、町内会の各活動のサポート・支援、また独自に町内・町外を問わず防災・防犯を含めた諸活動等が行われています。町内の防災・防犯に関する課題・問題点等を未然に防ぐような活動も行われています。今回の捜索も「みまわり隊」の協力で、円滑で効率の良い捜索が行われました。今後各町内で「みまわり隊」のような組織ができる事も必要と考えます。

若草地区は住民の高齢化が進み、住居者の認知症等での徘徊・行方不明等の高齢者対策が課題となります。草津市役所から認知症対策として、草津市認知症高齢者見守り支援ハンドブック=写真=やGPS貸出のちらし等を入手しました。支援ハンドブックでは、家族の行方不明を防ぐための項目が以下の様に記載されています。

- ▽自分たちでできる備えをする。
認知症の人が道に迷うことを想定し、持ち物に名札を付けたり、徘徊探知機(GPS機器)を所持させる等、万が一に備える。[GPS機器は無償で草津市から借用可(詳細は、市役所・長寿いきがい課)]
- ▽地域へ協力を求める。
可能であれば、ご近所に事情を話して、一人でいるのを見かけたら連絡してもらおうようにするなど、地域へ協力を求める。
- ▽早期の情報提供に備える。
万が一に行方不明になった場合は、早期に関係各位に情報を提供できるように情報提供用の写真等を準備する。

今回の捜索に関して、草津市役所・草津警察署・消防関係をはじめ、ご協力いただきましたまちづくり協議会の皆さま方にこの場をお借りしてお礼申し上げます。
(若草一丁目町内会長 別所健三)

夏まつりに先立ち、かがやきの丘町内会館「きりり」と、かがやきの丘北公園で防災訓練が行われ、約30人が参加しました。写真。

初の避難・通報訓練も実施

まず、初の試みとなる避難訓練・通報訓練を行いました。火事被害の大半が煙による酸欠とのことで、低姿勢で、ハンカチ等で煙を吸わないよう避難すること学びました。南消防署の隊長さんからスムーズに避難できていたとのコメントをいただきました。通報訓練では、実際の通報を体験

またあて物コーナーでは、景品の花火や有名キャラクターのマジックセット等が子どもたちにとっても喜ばれ

大盛況でした。写真を撮り歩きながら、たくさん子ども達の笑顔と出会う事が出来ました。ご協力をいただいたボランティアの皆様、スタッフをはじめ、様々な道具を持ち寄って下さった皆様、大変ありがとうございました。



質問に答えていき現場の状況を伝えていきます。危険なので再確認のために現場に戻るのはいやめましょう。次に「水消火器」を使っ

ての消火訓練。多くの人が参加しました。最後に消火栓の取り扱いを学びました。火事が起きた時は、消防が到着するまでの初期消火が重要で、そのための訓練が重要です。公園内でホースのほし方などの練習後、公園脇の消火栓を用いてタイムアタック。1回目は2分40秒かかりましたが、2回目は1分を切り、訓練の有効性を実感しました。町内みんなが使えるよう、町内会として考えていきたいと思えます。

(かがやきの丘町内会 防犯・交通部長)

趣味悠々

ガラス造形

ガラスの波に光が溶ける「涛」
縦 110センチ・横 95センチ
奥行 40センチ

制作 正木友梨さん 追分南二丁目



ひとこと
独学でガラスを始め、雪・氷・波など自然をテーマに小品から建築施工大型作品まで創ってきました。透明板ガラスに内包されたわずかな碧味を活かし、光と同時にデザイン、制作しています。フェリエ5Fエレベーターホールに壁面施工作品の一例があります。HP正木友梨のガラスの世界で検索出来ます。

野外宿泊体験でチャレンジ



地域協働合校 推進委員会(齋藤充浩委員長)は8月5日、6日の二日間、青地の西方寺で「南っ子宿泊体験2017」を実施しました。今年度は野外宿泊体験として「西方寺ふれあい広場」で、色々なことにチャレンジしながら集団生活とテントで

の宿泊を体験しました。小学生4〜6年生24人と地域の大人たちや学生ボランティアなど合わせて55名が参加しました。

初日はまず志津学区ボーイスカウトの方のご指導のもと、テントの設営を行いました。みんなで力を合わせながら自分たちの寝るテントを組み立てることができました。夕方にはロクハ荘で入浴した後、バーベキューの夕食を取りました。自分たちで肉を焼いて食べる、というのを初めてやったという子も多く、良い経験になりました。

二日目は緑化ボランティアの皆さんの指導の下、竹馬づくりに挑戦しました。竹馬作りは竹馬を切り、結び、竹馬を作り、遊ばす。子どもたちのほとんどが竹馬で遊ぶのは初めてでしたが、上手に乗りこなすことができるところまで、皆楽しんでいました。

この宿泊体験を通して子どもたちからは、「自分で肉を焼いて食べたことが楽しかった」「焼いて食べたマッシュマロがとてもおいしかった」「みんなでやった花火がとても楽しかった」「テントの中でみんなでトランプをしたことが楽しかった」などの声が上がりました。夏の夜でテントが暑くて眠れなかったことも含めて思い出に残る体験となりました。

史跡探訪・穴太衆の軌跡 栗田家の家訓「石の声を聴け」



栗田さんは、石垣を積む独特の方法として長い歴史を持つ穴太衆の起源から積み方、石の配置や全国の城壁の修復工事等々、穴太衆積み「野面積み(のづらづみ)」についてスライドを交えて説明を受けました。参加者にとっては、初めて聞くことばかりでした。最後に講師の独り言として、「栗田家の家訓として、『石の声を聴き、石の行ったところへ持つていけ』という言葉があるが、最初の頃は解らなかった。ある日

どうしても目に留まる石があり、その石を握えたらピタリと入った、そのときコトコトという音が確かに聞こえた。石がOKしてくれたと思いましたが、それから仕事以外の場でも、先ず相手の意見を聞くという謙虚さを持つようになりました。そうすると何事もうまくいくんです」と長い人生経験から得た答えを披露されました。

愛の声かけパトロール始まる



青少年育成委員会(萩原常雄委員長)では今年度も「愛の声かけパトロール」を実施しています。8月、12月の土曜日の夕刻、若草、岡本西地区、追分南地区の13町内の役員のご協力を得て各地区の公園、商業施設をパトロールします。青少年を取り巻く環境をより良くしていくために、皆様の協力をお願いします。

青少年の遊びのパターンも最近では様変わりして、公園や商業施設でのたむろは殆ど見かけなくなりました。各パトロール場所の問題点なども抽出して、青少年の非行防止(初発型非行の未然防止)と青少年の健全育成に対する意識高揚を図る取り組みを展開していきたいと考えています。

高齢者と昔遊び楽しむ

かがやきの丘町内会と民
児協が8月17日、社会福祉

協議会ふれあい高齢者事業
の一環として昔遊びを開催
しました。きらり会館



で夏休みの子ども達と
地域サロンなごみ会の
高齢者とのふれあいの
場を提供、父兄を含め
総勢30人余が参加しま
した。写真。

会場内では大型バラ
ンスゲーム、射的、輪
投げ、お手玉、コマ回
し、くじ引きなど10
種類のコーナーを準備



<6>

高知県の沖ノ島へは宿毛
港から鵜来島を経由して渡
島、平地が少ないので集落
が壁のように押し迫って見
えます。港から直ぐ前に高
い階段の神社、島内は市職
員が小型マイクロバスで案
内してくれました。この島
は暖流の関係で温暖なため
都会からの移住者もあり、
浅瀬には珊瑚礁も見えまし
た。

福岡県の玄海湾の能古島、

し、自由に遊びに興じ、高
齢者も子ども達から元気を
もらい夏バテも吹き飛んだ
ようでした。

世代を超えラジオ体操で交流

志津南小学校PTAは恒
例のラジオ体操を、7月21
日から8月10日までと8月
21日から25日までの2期に
分け、あわせて20日間実施、
毎朝7時半から地域内の各
公園等で、延べ530人が
参加しました。
今年は、台風の影響で中

最後に駄菓子詰め合わせ
のお土産をもらい、「また開
催して欲しい」と言っ
てみんな元気に帰宅しました。

止になった日もありました
が、その他の日は天候にも
恵まれ、毎朝開催され、小
学生だけでなく未就学児や
ご近所の皆さんと一緒に
行いました。
また、若草中央公園では
若寿会の皆さんや地域の方
も参加していただき、第一

4度挑戦の小呂島

避難場所も完備されていま
した。

宗像大島へのアクセスも
不便で渡島後、宗像大社分
宮に島巡り旅を無事完遂す
るようにと祈願し、島内は
ボランティアが無料マイク
ロバスで案内してくれたの
で助かりました。相島は更



福岡市小呂島港

にアクセスが不便な所で苦
勞し、渡島して島内観光し
ようにもレンタルバイク・
自転車・食料品店も無いし、

結局徒歩で散策し空腹で帰
還しました。
この島巡りで一番苦勞し
たのは福岡市の遙か彼方に

浮かぶ小さな小呂島(30人
程度)で、この島は大きい
日本地図にしか載っていま
せん。船舶も小さく、渡島
すべく福岡市姪浜港で三度
挑戦しましたが、海が荒れ
ていて四度目やっと成功。
この島は特段珍しい所もな
いのですが、平日の絶好日
だったので港から小・中学
校まで徒歩で行き訪問。学
校では生徒数が全員で20数
人程度という家族的な雰囲
気で教職員も歓待してくれ
ました。
大分県の姫島も不便な島
であり、悪天候だったため
港付近のみ散策、伝統の「狐
踊り」や名所旧跡等の見学
は残念ながら断念しました。

第二体操まで行い、にぎや
かに楽しく世代を超えて交



若草中央公園

流ができました。途中でラ
シカセが止まることもあり



かがやきの丘公園

ましたが、6年生がリード
して元気いっぱい身体を動
かしました。
今年も地域の皆様
のご支援・ご協力で
無事に終えることが
でき、誠にありがと
うございました。ま
た、近隣の方々には
早朝よりお騒がせし
ご迷惑をおかけいた
しました。紙面をお
借りしておわびいた
します。
(志津南小学校PTA
A地域部)

滋賀の食材で楽しく料理

健康推進員連絡協議会(岡
敬子代表)は8月26日、志

津南まちづくりセンター調
理室で親子の料理講習会を
開催しました



写真。
「子どもた
ちに滋賀の材
料を使い懐か
しい料理を伝
え継ぐ」とい
うテーマで、
こども12人
大人19人の31
食を作りまし
た。

東近江市の
赤こんにやく
を使い「赤

こんにやくとグリーンピー
ス・コーンの卵とじ」、湖南
市下田地区の下田ナスを使
った「下田ナスの甘酢漬」、
また昔懐かしい「だんご汁」
には野菜をたっぷり入れま
した。
小学生の子どもたちも上
手に包丁を使い野菜を切り
ました。「だんご汁」のだん
ごは、こねるのもちぎるの
も、とても楽しそうでした。
「おいしくて野菜も全部食べ
ました」とも楽しかった。
家でも手伝えたい」という
アンケートの感想があり夏
休みの最後に楽しくクッキ
ングできた事に大満足の様
子でした。

みんなプールで大はしゃぎ



追分南子育てサロンが8月23日、追分南会館で水遊びをしました。スタッフ4人を含む20人が参加しまし

た。写真。

子ども達は2つ用意したプールに入るなり「キャーキャー」と大はしゃぎ、おもちゃ、ペットボトルを使って楽しく遊びました。

赤ちゃんもお母さんと一緒に楽しんだ後、休憩に入りみんなでスイカを食べ水分補給です。そしてスイカ割りスタート。赤ちゃんから順番に挑戦。でもなかなか割れません。最後に4歳の男の子の力で真二つに。どこからか鈴虫もきれいな声で応援。みんなも拍手、お腹もいっぱい楽しいひと時でした。(民生委員)

9月24日にスポーツまつり

来る9月24日(日)恒例の「若草・岡本西地区スポーツまつり」を開催します。今回は追分南地区4町を含めた学区事業としての実施がまだ時期尚早であるとの事で、若草・岡本西地区協働活動委員会のもとにスポーツまつり実行委員会を設立、本区内体育振興委員会関係者をスタッフと

して実施します。今年で13回目となりますが昨年同様、志津南小学校の運動場と体育館を会場とします。参加方法が応援選手と違っても、全員が輝いて過ごす時間となるよう

「出場者・観覧者みんなが主役のスポーツまつり」をスローガンとし、内容も、誰もが自由に体験できる前半と、思わず応援したくなる競技種目を取り入れた後半の2部構成とします。前半の部では、ニュースポーツが体験できる、複数の自由参加種目を並行展開するまつり形式で、スタンブラリーを取り入れられます。後半の部では、多様な年齢層に対応できるように競技種目を取り入れました。多くの方々のコミュニティの場となりますよう、自由参加種目に、また応援に、皆様のご参加を当実行委員会一同お待ちしております。(若草・岡本西地区スポーツまつり実行委員会)

特殊詐欺被害が急増中！

電話をかけるなど、対面することなく相手を信頼させ、現金をだまし取る犯罪、いわゆる「オレオレ詐欺」の被害が目立ち始めたのは平成15年頃でしょうか。家族になりすまし「俺だよ、俺…」と電話をかけてくることから命名されましたが、今ではその手口が巧妙化し「振り込め詐欺」などと総称されています。これだけ名称が普及した現在も、相変わらず詐欺被害は多発しており、滋賀県警でも注意を呼び掛けます。高齢者を対象とする



は1億6447万円に達しています。手口として多いのは、架空請求詐欺、続いてオレオレ詐欺となっています。高齢者を対象とする

ケースが多いのですが、実際被害に遭った年齢層のトップは50歳代、誰もが被害に遭う可能性があります。 「還付金がある」とか「債権が当たった」などお得な話を持ち掛けたり、「口座が不正に作られている」「被害に遭う前に預金を引き出した方が良い」と危機感を煽るケースがあると云います。お金に関する電話を安易に信じない事が一番。不審な電話がかかった時は、必ず誰かに相談して、被害に遭わないよう気をつけましょう。

▽日時 10月12日(木) 10時~11時30分
▽場所 志津南まちづくりセンター会議室
▽対象 未就園児と保護者
▽内容 親子で楽しく身体を動かそう
▽持ち物 汗拭きタオル・お茶
▽講師 松浦 広暉氏 (ガッツ体操スクール代表)
▽申し込み 不要
▽参加費 無料
皆様の参加をお待ちしています。

男の料理講習会

志津南学区健康推進員連絡協議会は「男性の料理講習会」を手軽に作れておいしく食べて」を次の要領で実施します。
▽日時 9月29日(金) 10時~13時
▽会場 志津南まちづくりセンター 調理室
▽対象 男性
▽参加費 300円
▽持ち物 エプロン、三角巾、タオル

▽申込先 志津南まちづくりセンター (563) 6206
▽締め切り 9月22日(金)
▽ごみ袋引換券 9月30日まで
現在お持ちのごみ袋引換券は今月で無効になります。
10月1日からは新しい引換券に替わります。まだ引換券をお持ちの方は9月30日まで引き換えしてください。

折々の記



「そういう人もいるんやなあ。」「そういう考え方もあるんやなあ。」「友人の言葉である。私は今、この言葉を大切にしている。

毎日の生活の中で、人は必ず他者と接する。このとき、自分の周りには必ずしも同じ考え方の人がばかりがいるわけではない。自分の考え方や行動と違う人と出会ったとき、それが尊敬でき、納得できる時は何の疑

普通って一体何

しかしここで立ち止まって考えてみたい。自分が普通と思っていることは本当に普通なのだろうか？そもそも普通って一体何なのだろうか？自分の考え方に合わないことをすべて排除するよるような物事のとらえ方は、何事も良い方向に進むことは考えにくい。自分の

凝り固まった「普通」にとられて他を排除するよりは、冒頭のように自分との違いを受け入れることの方が、他者との関係もよいものになることが多いのではないだろうか。何でも自分色に染めることばかりに突き進むのではなく、他の色を意識的に自分の中に取り込む、受け入れるという冒頭のような考え方を大切にして、頑固な自分を柔らかくしたいと思っている。そして、置かれた状況で否定的な思いで染められない自分を作るのではなく、どんな状況も自分が楽になれるように前向きな気持ちを持てる自分ではない。 サニブラウン